

「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト ～「交通空白」解消緊急対策事業～

実証実験検討資料

2025年6月



- 01 町内郊外部の交通空白
- 02 運行の方法（検討中）
- 03 想定される運行内容
- 04 実施体制
- 05 実証実験のポイント

01 町内郊外部の交通空白

郡部→市街地

- ・タクシーを除く交通手段はふれあいバスとなるが、市街地行きはスクールバスを兼ねるため、8:30までに着く便しかない。（金曜日除く）
- ・午後に市街地に向かう手段は、浜大樹、旭方面を除きタクシーのみ。



金曜日を除き、9:00～15:00は、タクシー以外の交通機関なし

市街地→郡部

- ・午前中に郡部に行く手段はタクシーのみ。
- ・生花、浜大樹、旭方面は14:00代にバスがあるが、尾田方面は金曜日除き15:00代（14:00代のバスはコスモールなど経由しない。）



午前中は、タクシー以外の交通機関なし

→公共ライドシェアの導入により、より自由な移動手段の確保へ
今年度11月～12月で実証実験

02 運行の方法（検討中）

基本的な考え方

- ・車は最大2台購入。まずは、2エリア（尾田・生花方面予定）のスタート。
- ・運転手は一般町民が担う。
- ・利用者からの予約で家の前まで送迎。市街地はコスモール発着で市街地循環バス「コスモ」に接続

郡部→市街地

- ・電話を用いて前日までに時間内の配車予約。
- ・運行事業者は予約状況に応じてルート決定。利用者へ時間連絡。
- ・町内はコスモール大樹と町立病院まで。町内の移動は循環バス「コスモ」で。

市街地→郡部

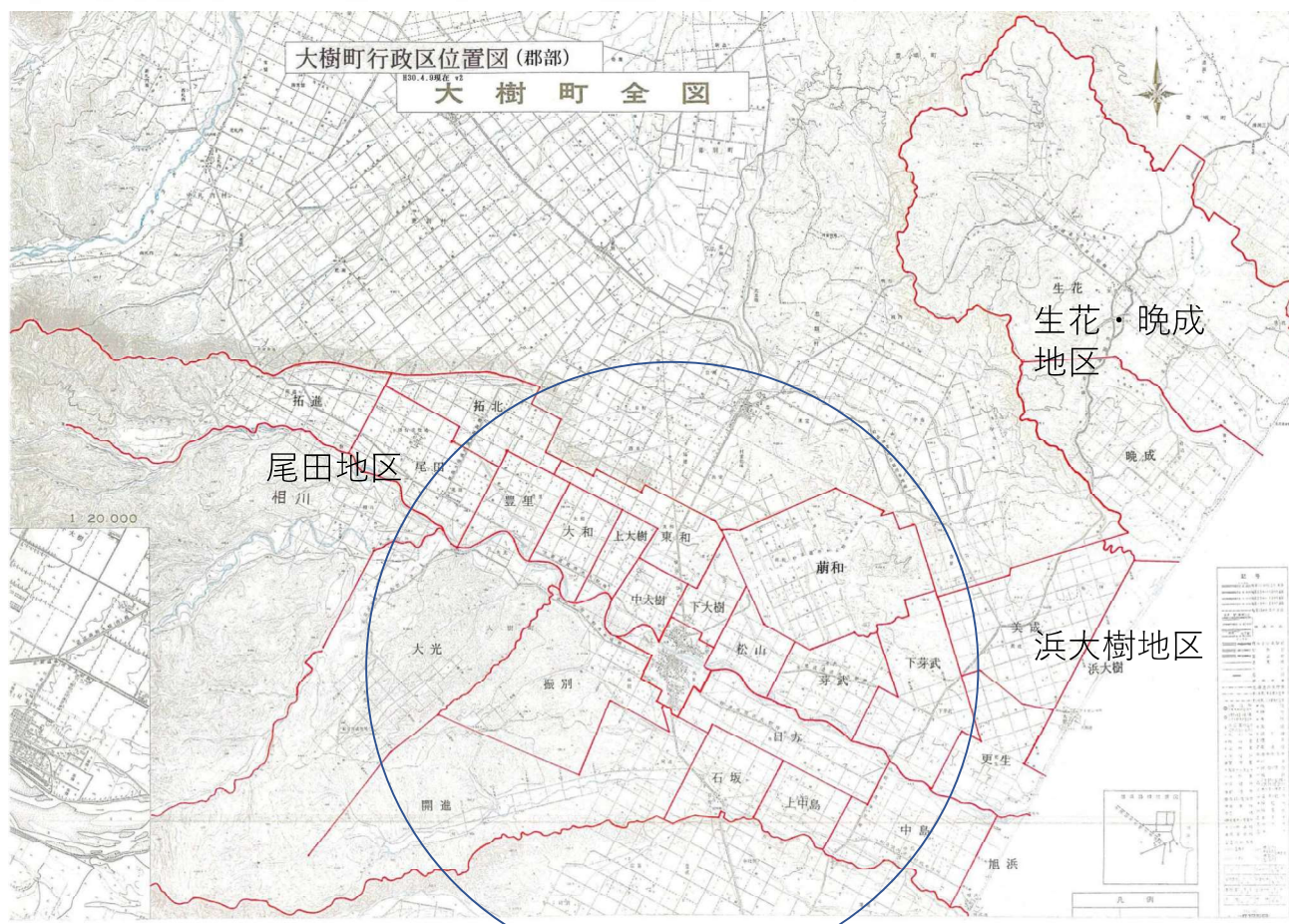
- ・利用者は電話等を用いて降車場所の予約。
- ・運行事業者は予約状況に応じてルート決定。
- ・市街地はコスモール大樹を定刻に発車

運行区間	運行の必要性	運行曜日	運行時間	備考
市街地～ 尾田地区	・過年度に実証運行を実施しており、一定のニーズが明らかとなっているため	月・水・金曜日 ※祝日を除く	【尾田発：1便】 ・9:30～10:20 【市街地発：2便】 ・11:38～ ・12:49～	・運行時間の調整が必要
市街地～ 浜大樹・ 晩成・ 生花	・生花地区は町内で市街地から最も遠い ・浜大樹地区は一定数世帯があり、集落となっている。	月・水・金曜日 ※祝日を除く	【生花発：1便】 ・9:30～10:20 【市街地発：2便】 ・11:38～ ・12:49～	・運転手や車両の空き状況等を踏まえ、同時に全区域の運行が可能かどうか、検討が必要
その他 地区	・アンケート調査等によりニーズを確認し、段階的な運行を検討			

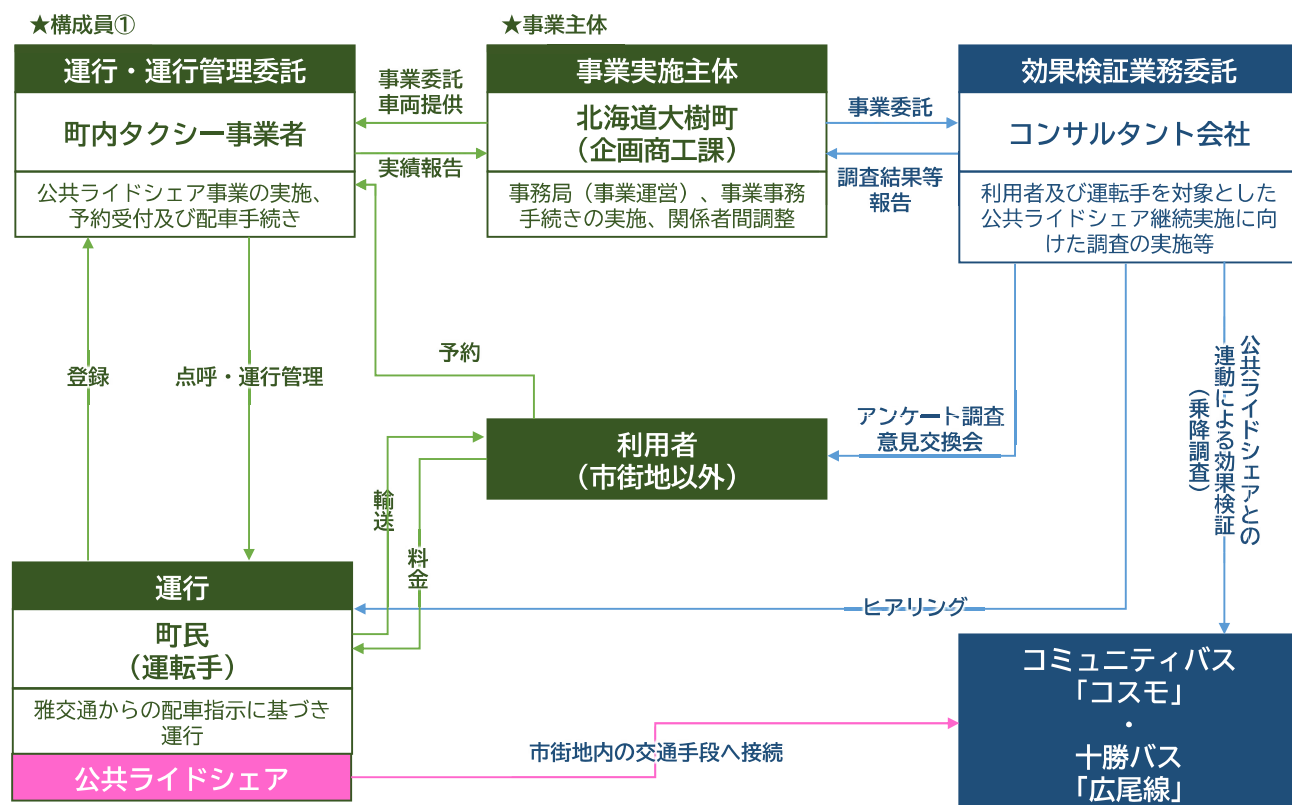
※コスモとの連動を想定し、運行曜日は月・水・金曜日を想定

※市街地行きは10:20コスモール発のコスモに接続

※郡部行きは11:38と12:49コスモール着のコスモからの接続



04 実施体制



05 実証実験のポイント

郡部の交通手段の確保

アンケート実施による意識調査と、実証運行実施による実需用調査。「ふれあいバス」や「通院バス」の代替となり得るかどうか。

ドライバー確保

旅客運送事業者のドライバー不足が問題となる中、自家用有償旅客運送の担い手が町内にどのくらいいるか。また、実施に向けた具体的な業務量と費用の計測。

既存交通との接続

ドアツードアである方が利便性が高いのは当然だが、需要の高い施設に公共交通手段の集中が起こりがちになることから、乗り換えを前提とした交通手段の実験

適性な料金

タクシーでは高額となる地域での実験。利用者アンケートにより利用される料金帯を調査。